

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	麻薬等対策推進費（広報経費）		担当部局庁	医薬食品局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	①昭和63年度 ②昭和37年度 ③昭和62年度 ④平成18年度		担当課室	監視指導・麻薬対策課		課長 赤川治郎		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-3-1 規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止対策事業の実施について（平成11年7月9日医薬発第835号） ・新国連薬物乱用根絶宣言 ・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実施要綱 ・麻薬・覚せい剤乱用防止運動実施要綱 ・薬物乱用防止教育の充実について（平成20年9月17日20文科ス第639号） ・第三次薬物乱用防止五か年戦略 				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	別紙のとおり							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	別紙のとおり							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	当初予算	148	124	107	103	98		
	補正予算							
	繰越し等							
	計	148	124	107	103	98		
	執行額	107	115	100				
執行率(%)	72%	93%	93%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は国民への啓発及び再乱用防止対策を通じて薬物乱用の根絶を図ることを目的としており、成果について定量的に示すことはできない。		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	別紙のとおり		活動実績(当初見込み)	別紙のとおり				
単位当たりコスト	別紙のとおり		算出根拠	別紙のとおり				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	庁費	2.3	2.1	事業内容見直しによる通信運搬費等の減				
	医薬品審査等業務庁費	29.9	26.2	事業内容見直しによる印刷製本費等の減				
	保健福祉調査委託費	70.5	69.6	事業内容見直しによる印刷製本費、旅費等の減				
	計	102.7	97.8					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	全国の青少年や家族に対する啓発強化とその規範意識の向上を図る必要がある。その取組に対しては広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	第三次薬物乱用防止五か年戦略の目標1で「青少年による薬物乱用の根絶及び薬物乱用を根絶する規範意識の向上」が掲げられ、関係省庁連携の下、薬物乱用の未然防止対策を行うことになっており、厚生労働省として対応した事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	青少年への啓発及び再乱用防止対策を通じて薬物乱用の根絶を図るための普及啓発事業は健康被害防止、社会的安定を図るものであり、優先度は極めて高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出選定にあたっては、少額随意契約によるものを除き、競争入札を原則としている。なお、一者応札となっている案件については必要に応じて仕様を見直す等より競争性を確保してまいりたい。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業目的に即した適正な水準であると考えられる。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	資金の流れは、事業を行うにあたり必要最小限に限定されており、合理的なものであると考えられる。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した適正な執行を行っている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	平成24年度においてキャラバンカーの到達目標を900ヶ所訪問と設定していたが、1,115ヶ所訪問と目標値を上回る事ができた。その他の事業についても、事前に必要部数を聴取し、必要最小限の範囲で執行を行っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	パンフレット、リーフレット等を広く小学校、高等学校、関係団体、都道府県等に配布した。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	<p>・現在、違法ドラッグの乱用が問題となっていることから、当省が作成しているパンフレット等に違法ドラッグによる健康被害の情報を充実させていく。</p> <p>・キャラバンカーの訪問箇所について、年間900箇所の到達目標を設定している。平成24年度は目標を達成したが、平成23年度は目標を達成できなかった。今後、安定的に目標が達成するため、都道府県等へ学校、地域イベント等でキャラバンカーを活用するよう積極的に周知していく。</p>				
	外部有識者の点検対象外				
外部有識者の所見					
外部有識者の点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	本事業は、麻薬等対策推進に必要な広報経費であるが、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	事業内容見直しにより、印刷製本費及び通信運搬費等を削減した。				
備考					
平成22年度省内事業仕分け：省庁横断的に麻薬対策事業を整理し、その中で厚労省が果たすべき役割を明確化しつつ、根本的に見直し。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	349	平成23年	317	平成24年	276

厚生労働省
100百万円

【競争入札(総合評価落札方式)】

A. (財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター
72百万円
1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業の実施
2. 青少年薬物乱用防止啓発事業の実施
3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業の実施

【随意契約】

C. 大和総合印刷(株)
2.4百万円
外2件 計4.6百万円
麻薬・覚せい剤乱用防止運動

【随意契約】

D. 大和総合印刷(株)
2.1百万円
外3件 計4.7百万円
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

【競争入札(総合評価落札方式)】

B. 日本総合サービス(株)
19百万円
薬物乱用防止キャラバンカー運転業務の実施

【競争入札4件(うち1件総合評価落札方式)、随意契約】

E. (株)miura-ori lab
4.9百万円
外4件 計15.5百万円
薬物乱用防止読本

【随意契約2件】

F. 大和総合印刷(株)
2.4百万円
外1件 計3.1百万円
再乱用防止家族向け読本

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター			E(株)miura-ori lab		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	外部委託	日本総合サービス(株) キャラバンカー運転業務	19	その他	啓発読本の印刷	4.9
	雑役務費	キャラバンカー保守料	5			
	人件費	キャラバンカー運行管理業務等	3			
	旅費	キャラバンカー説明員旅費、対話集会講 師旅費、中堅指導員研修会出席者旅費	9			
	諸謝金	キャラバンカー説明員謝金、対話集会講 師謝金、中堅指導員研修会講師謝金	19			
	自動車維持費	キャラバンカー燃料費、キャラバンカー 車両備品費	5			
	借料及び損料	キャラバンカー車庫代、対話集会会場借 料、中堅指導員研修会会場借料	6			
	その他	キャラバンカー保険料、キャラバンカー 自動車税、対話集会印刷製本費、中堅 指導員研修会印刷製本費等	4			
通信運搬費	キャラバンカー高速代、キャラバンカー 電話料	2				
計		72	計		4.9	
	B.日本総合サービス(株)			F.大和総合印刷(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
人件費	キャラバンカー運転業務	19	その他	啓発読本の印刷	2.4	
計		19	計		2.4	
	C.大和総合印刷(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
その他	啓発資材の印刷	2.4				
計		2.4	計		0	
	D.大和総合印刷(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
その他	啓発資材の印刷	2.1				
計		2.1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業の実施 2. 青少年薬物乱用防止啓発事業の実施 3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業の実施	72	1	99%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本総合サービス(株)	薬物乱用キャラバンカー運転業務の実施	19	1	99%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	麻薬・覚醒剤乱用防止運動パンフレット	2.4	随意契約	
2	財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	麻薬・覚醒剤乱用防止運動 B2ポスター	1.2	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送一式「麻薬・覚醒剤乱用防止運動用ポスター」外1件	1.0	随意契約	

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動リーフレット	2.1	随意契約	
2	財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動ポスター	1.6	随意契約	
3	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター外1件)	0.7	随意契約	
4	財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	デザイン制作一式(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動リーフレット)	0.3	随意契約	

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)miura-ori lab	薬物乱用読本(小学校6年生保護者向け・高校3年生向け)	4.9	8	60%
2	財)麻薬・覚せい剤乱用防止センター	薬物乱用読本(青少年向け・小学校6年生保護者向け・広告3年生向け)企画	3.5	3	79%
3	サンテックサービス(株)	梱包・発送(薬物乱用読本(小学校6年生保護者向け・高校3年生向け))	3.3	2	53%
4	(株)共立製本マーケティング	薬物乱用読本(青少年向け)	2.8	7	47%
5	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送(薬物乱用読本(青少年向け))	1.0	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和総合印刷(株)	再乱用防止家族向け読本	2.4	随意契約	
2	協新流通デベロッパー(株)	梱包・発送(再乱用防止家族向け読本)	0.7	随意契約	

【事業の目的】

①覚醒剤等撲滅啓発等委託費

事業の目的	麻薬・覚醒剤等の薬物乱用による危害を広く国民に周知させ、国民一人一人の認識を高めることにより、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用の根絶を図る
-------	---

②覚醒剤防止特別対策費

事業の目的	国連決議による「6. 26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図るとともに、薬物乱用による健康被害等の危害について広く国民に周知、その認識をためることにより薬物乱用の根絶を図る。
-------	--

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

事業の目的	小学校6年生の保護者、高校3年生及び未成年労働者等の無職・有職青少年のそれぞれの成長段階を対象とした薬物乱用防止についての啓発資料を提供することにより、若年化する薬物乱用傾向を阻止する。
-------	---

④再乱用防止対策事業費

事業の目的	薬物依存症についての正しい知識や、中毒者の家族が頼れる相談窓口、支援施設等を広く周知することにより、薬物中毒者とその家族の負担を軽減する。また、薬物中毒者に対する偏見・誤解等を解消することにより、社会全体で受け入れ、支えることができる環境を作り上げることを目的とする。
-------	--

【事業概要】

①覚醒剤等撲滅啓発等委託費

事業概要	<p>1. 薬物乱用防止キャラバンカーを活用した広報事業 薬物乱用防止キャラバンカーを要請のあった学校等へ専門の指導員とともに派遣し、薬物乱用防止に関する正しい知識の普及を図る。</p> <p>2. 青少年薬物乱用防止啓発事業 地域に根ざした啓発活動を推進するため、各地域情勢を踏まえ、地域住民が参加し、薬物問題をより身近に感じることができる小規模な集会を開催する。</p> <p>3. 薬物乱用防止中堅指導員養成事業 小学校における広報活動の一環として薬物乱用防止教室の講師等を行える中堅的な指導員を養成するための効果的な研修を開催する。</p>
------	--

②覚醒剤防止特別対策費

事業概要	毎年10月26日「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」を契機として、全国各地で実施している「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び毎年10月17日にロサンゼルスで地区大会を開催している麻薬・覚醒剤乱用防止運動に必要なポスター、啓発読本等の啓発資料を作成して配布する。
------	--

③薬物乱用防止普及啓発推進事業費

事業概要	<p>以下の部数を作成し、学校等に直接送付する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者(小学6年生)向け読本の配布による家庭の場の啓発読本の作成等 ・未成年労働者、児童自立支援施設入所者などの有職・無職少年への啓発読本の作成等 ・覚せい剤・大麻・MDMA・違法ドラッグに特化した啓発読本を高校3年生に配布するための啓発読本の作成等
------	---

④再乱用防止対策事業費

事業概要	薬物依存症についての正しい知識や、薬物中毒者の家族による自助活動及び中毒者の家族が頼れる相談窓口や、中毒者の治療・支援施設等を網羅的に紹介されたパンフレットを作成し、関係機関に配布する。
------	---

【活動指標及び活動実績(アウトプット)】

活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
薬物乱用防止キャラバンカー運行管理事業	活動実績	箇所	792	887	1115	—
	(当初見込み)		764	900	900	900
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用リーフレット	活動実績	万部	155	140	140	140
	(当初見込み)		150	155	140	140
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター	活動実績	万部	13	12	12	12
	(当初見込み)		13	13	12	12
麻薬・覚醒剤乱用防止運動用パンフレット等	活動実績	万部	21	24	24	—
	(当初見込み)		35	21	24	24
麻薬・覚醒剤乱用防止運動用ポスター	活動実績	万部	6	6	6	—
	(当初見込み)		6	6	6	6
小学校の保護者への普及啓発 (全小学校6年生の保護者に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	118	120	120	—
	(当初見込み)		118	118	120	120
高校生への普及啓発 (全高校3年生に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	111	111	120	—
	(当初見込み)		111	111	111	111
青少年への普及啓発 (未成年労働者等の有職・無職少年が訪れる施設に薬物乱用防止啓発読本配布)	活動実績	万部	26	26	26	—
	(当初見込み)		—	26	26	26

【単位あたりコスト】

活動指標	単位あたりコスト	単位
薬物乱用防止キャラバンカー運行管理事業	約64,958円	1箇所あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)／箇所数(24年度) 64,958円＝72,429,000円／1,115箇所
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用パンフレット等	約36円	1枚あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 0.185円＝企画・編集(262,185円)／1,414,800枚 1.543円＝リーフレット(2,183,743円)／印刷(1,414,800枚) 34.004円＝送付代金(653,406円)／送付枚数(19,215枚)
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動用ポスター	約46円	1枚あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 12.34円＝ポスター(B1、B2、B3)(1,477,234円)／印刷(119,700枚) 34.004円＝送付代金(653,406円)／送付枚数(19,215枚)
麻薬・覚醒剤乱用防止運動用パンフレット等	約13円	1枚あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 9.71円＝パンフレット(2,419,082円)／印刷(249,069枚) 3.213円＝送付代金(990,985円)／送付枚数(308,417枚)
麻薬・覚醒剤乱用防止運動用ポスター	約23円	1枚あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 19.424円＝ポスター(1,152,834円)／印刷(59,348枚) 3.213円＝送付代金(990,985円)／送付枚数(308,417枚)
小学校の保護者への普及啓発 (全小学校6年生の保護者に薬物乱用防止啓発読本配布)	約4円	1冊あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 1.162円＝企画・編集(3,433,500円)／2,954,000冊 1.841円＝印刷(4,998,000円)／2,714,000冊 1.284円＝送付(3,287,550円)／2,560,104冊
高校生への普及啓発 (全高校3年生に薬物乱用防止啓発読本配布)	約4円	1冊あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 1.162円＝企画・編集(3,433,500円)／2,954,000冊 1.841円＝印刷(4,998,000円)／2,714,000冊 1.284円＝送付(3,287,550円)／2,560,104冊
青少年への普及啓発 (未成年労働者等の有職・無職少年が訪れる施設に薬物乱用防止啓発読本配布)	約17円	1冊あたりのコスト(24年度)＝執行額(24年度)(企画・編集、印刷、送付)／配布枚数(24年度) 1.162円＝企画・編集(3,433,500円)／2,954,000冊 11.518円＝印刷(2,764,440円)／240,000冊 4.145円＝送付(988,579円)／238,490冊